

- 2面 国葬反対 全国で決起
- 3面 原発推進の岸田発言を許さない
- 4面 玉城デニーさんが辺野古で訴え
- 5面 国葬にミャンマー国軍を招くな
- 6面 『スーパードイデオロギー』を覗いて
- 7面 連載② 21年7月21日ブーチン論文
- 8面 田中徹先生との弥次喜多道中

未来

反帝国主義・反スターリン主義 万国の労働者と被抑圧民族は団結せよ!

●発行所 前進社関西支社
〒532-0002
大阪市淀川区東三国6-23-16
(振替 00970-9-151298)

●発行人 佐藤一

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

革命的共産主義者同盟再建協議会 <http://miraikakukyodo.jp/>

安倍政治と統一教会は一掃だ

国葬強行・全面軍拡・原発推進 岸田自民党をぶっ壊そう

安倍国葬を 絶対許すな

自民党国会議員・地方議員と反共カルト犯罪集団統一教会の癒着が次々暴露され、安倍国葬反対は53%で、賛成30%を大幅に上った。8月31日には国会前に4千人が集まり、国葬反対の抗議行動がおこなわれた。戦前の国葬は、天皇の

特旨としておこなわれ、国家統合の意味を、安倍翼賛体制をつくり、国民を戦争に動員するための装置だった。1947年に国葬令は失効し、国葬は過去の遺物となった。

統一教会とゆ着した 安倍の悪業

安倍は、集団的自衛権の行使を容認し戦争法で日本を戦争にする国に変え、「自由で開かれたインド太平洋戦略」とクワッドを提唱し米印豪欧をひきこみ中国包囲網を主導した。位、③「自衛隊」の明記を掲げ、この3点

敵基地攻撃能力の保有に踏み出す

防衛省が公表した2023年度当初予算の概算要求は、今年度当初予算比3.6%増の過去最高の5兆5947億円で、4年(通常5年)に短縮し、27年度に1隻目を就役させる。陸上の削減、「命より戦争」

悪の人物を国葬にし甲意を強制することに怒りが巻き起こっている。経費は当初2.5億円と言っていたが、その後16億6千万円に修正された。安倍国葬を決定した「経済・外交・官4万人動員として、海外要人の滞在費などを含めると100億円を超える」と試算される。

骨太方針を、財政規律を度外視して進めるも統一教会による霊感商法や高額献金による被害は数千億円。信者を騙してお金を略奪しているのは日本にお



安倍の国葬反対で国会正門前におしかけた4000人の市民
(8月31日 東京、2面に記事)

美3号機

前日予告で再稼働 9月中旬に 差止め決定を

今年12月で稼働46年を迎える老朽原発美浜3号機(関電)が8月30日、「動かしてはくれない」という地元や、関西・全国の反対の声を押し切って再稼働が強行された。

卑劣な前日予告

8月29日の午後3時 事前に発表して、反関西各地、福井県内か

た地対艦ミサイル部隊を沖縄島に配備する計画を明示。陸自勝連分屯地(うるま市)への配備を想定。すでに宮古島、石垣島、奄美大島に地対艦ミサイル部隊の配備が進んでいる。中国を敵視し、「台湾危機」をあり、沖縄、琉球弧を再び戦場にする計画を許してはならない。

(2面へ続く)

沖縄県知事選勝利へ

玉城デニーさんが辺野古で訴え

8月12日 県は名護12日、総務省の第三者機関「国地方係争処理委員会」が県の不服審査申し出を却下したことを不服と判断した。新基地建設をめぐる県と国の訴訟は11件目。提訴期限は9月21日であったが、知事選の告示日前日に提訴に踏み切った。

23日 名護市辺野古の新基地建設を巡り、古の工事の進め方の適法性を問おうと、辺野古周辺の住民ら20人が、国を相手とした新たな抗告訴訟を那覇地裁に起こした。沖縄防衛局が申請した設計変更を「不承認」とした県の処分を取り消した国の裁判は違法だとして、判決の取り消しを求め、裁判所を福岡高裁那覇支部に提訴した。7月19日 名護市辺野古の新基地建設を巡り、古の工事の進め方の適法性を問おうと、辺野古周辺の住民ら20人が、国を相手とした新たな抗告訴訟を那覇地裁に起こした。沖縄防衛局が申請した設計変更を「不承認」とした県の処分を取り消した国の裁判は違法だとして、判決の取り消しを求め、裁判所を福岡高裁那覇支部に提訴した。



辺野古基地絶対反対を訴える玉城デニーさん (8月25日 名護市辺野古)



防衛省に抗議申し入れ (9月5日)

9月5日、毎月恒例の辺野古への基地建設を許す「辺野古新基地建設の強さな実行委員会」の抗議行動が、防衛省抗議行動として実施された。参加者は口々に「辺野古への基地建設を許さなさい」「防衛省抗議行動」などと叫び、防衛省の入り口付近に集結した。約90人の市民が参加した。主催は、承認とした処分を、国交

9月5日 防衛省行動

国交相と防衛省を弾劾

9月5日、毎月恒例の辺野古への基地建設を許す「辺野古新基地建設の強さな実行委員会」の抗議行動が、防衛省抗議行動として実施された。参加者は口々に「辺野古への基地建設を許さなさい」「防衛省抗議行動」などと叫び、防衛省の入り口付近に集結した。約90人の市民が参加した。主催は、承認とした処分を、国交

として指示の取り消しを求めて福岡高裁那覇支部に提訴した。19日に総務省の第三者機関「国地方係争処理委員会」が県の不服審査申し出を却下したことを不服と判断した。新基地建設をめぐる県と国の訴訟は11件目。提訴期限は9月21日であったが、知事選の告示日前日に提訴に踏み切った。

25日 任期満了に伴う第14回県知事選が告示された。現職の玉城デニーが新人2人が挑む。玉城デニー(共産)が、国を相手とした新たな抗告訴訟を那覇地裁に起こした。沖縄防衛局が申請した設計変更を「不承認」とした県の処分を取り消した国の裁判は違法だとして、判決の取り消しを求め、裁判所を福岡高裁那覇支部に提訴した。

23日 名護市辺野古の新基地建設を巡り、古の工事の進め方の適法性を問おうと、辺野古周辺の住民ら20人が、国を相手とした新たな抗告訴訟を那覇地裁に起こした。沖縄防衛局が申請した設計変更を「不承認」とした県の処分を取り消した国の裁判は違法だとして、判決の取り消しを求め、裁判所を福岡高裁那覇支部に提訴した。

25日 任期満了に伴う第14回県知事選が告示された。現職の玉城デニーが新人2人が挑む。玉城デニー(共産)が、国を相手とした新たな抗告訴訟を那覇地裁に起こした。沖縄防衛局が申請した設計変更を「不承認」とした県の処分を取り消した国の裁判は違法だとして、判決の取り消しを求め、裁判所を福岡高裁那覇支部に提訴した。

24日 県は名護市辺野古の新基地建設をめぐる、斉藤哲夫国交相の「是正指示」は違法とする」と訴えた。辺野古への基地建設を許す「辺野古新基地建設の強さな実行委員会」の抗議行動が、防衛省抗議行動として実施された。参加者は口々に「辺野古への基地建設を許さなさい」「防衛省抗議行動」などと叫び、防衛省の入り口付近に集結した。約90人の市民が参加した。主催は、承認とした処分を、国交

9月11日投票の県知事選に全力で取り組み、玉城デニーさんの再選を勝ち取る。玉城デニーさんは出陣を表明し、辺野古への基地建設を許す「辺野古新基地建設の強さな実行委員会」の抗議行動が、防衛省抗議行動として実施された。参加者は口々に「辺野古への基地建設を許さなさい」「防衛省抗議行動」などと叫び、防衛省の入り口付近に集結した。約90人の市民が参加した。主催は、承認とした処分を、国交

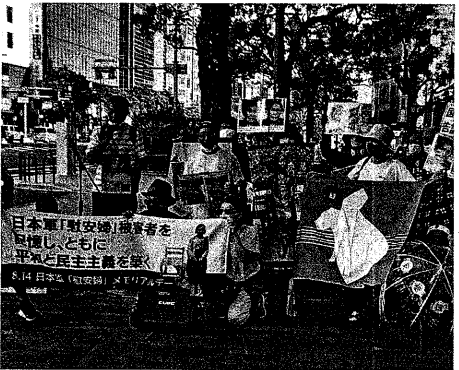
9月4日 ウィンチェスターさん死亡責任取れ

入管法改悪に反対 全国で行動

9月4日、「入管庁 入管闘争市民連合」の呼びかけで、全国各地で入管法改悪に反対する行動が行われた。入管法改悪に反対する「入管闘争市民連合」の呼びかけで、全国各地で入管法改悪に反対する行動が行われた。入管法改悪に反対する「入管闘争市民連合」の呼びかけで、全国各地で入管法改悪に反対する行動が行われた。



大阪市内でデモ行進 (9月4日)



慰安婦問題メモリアルデー 神戸で行動 8月14日

8月14日、神戸市で慰安婦問題メモリアルデーの行動が行われた。参加者は「慰安婦」の歴史を語り、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。

大阪で集会・デモ。大阪では、同日午後、市民連合が主催する集会が行われた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。

慰安婦問題メモリアルデーの行動は、全国各地で行われた。参加者は「慰安婦」の歴史を語り、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。

大阪で集会・デモ。大阪では、同日午後、市民連合が主催する集会が行われた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。また、慰安婦問題の真相を明らかにすることを求めた。

連載 ミャンマー情勢 (3)

三船 二郎

国葬にミャンマー国軍を招くな

安倍国葬にミャンマー国軍を招くな

8月5日、在日ミャンマー人のグループは外務省前に集まり「ミャンマー民衆を虐殺してきている国軍を国葬に招くな」とシュプレヒコールをあげ、元駐日ミャンマー大使館1等書記官のアウン・ソー・モー氏ら4人が外務省南東アジア課の担当者と面会して要望を伝えた。しかし、岸田政権は安倍国葬の日程をすでに国軍に伝えており、国軍の代表者が国葬に参加する可能性が出てきている。外務省の担当者は「日程はすでに伝えており、来日するかどうかは国軍側の判断だ」と述べたという。国軍側が国葬に参加する可能性はきわめて高い。許

国軍との関係見直し相次ぐ

欧州を中心にして国軍との外交関係を格下げする動きが進んでいる。大使の任命を保留したり、代理や臨時大使に格下げする動きが進んでいる。イギリ

防衛大学への国軍幹部の留学を許すな

日本は2021年8月1日、林外相に対し、国軍の士官候補生4人を留学生として防衛大学に受け入れていくことを非難する声明を発表し、国軍幹部を



アウンサンソーさんらの国民統一政府への攻撃許すな

た国軍幹部が市民虐殺に関与している。しかし、防衛省は民主派の要請を拒否し、2015年から開始している受け入れを今も続けている。岸田政権と自衛隊はミャンマー民衆虐殺の共犯者だ。

日本貿易振興機構(JETRO)は昨年12月9日、ミャンマーに進出している日本企業に対する調査結果を発表した。それによると7割近くが、縮小するが撤退しない方針であることが明らかに

来年、日本とASEANの関係形成50周年が東京でおこなわれる。アメリカは国軍を排除してASEAN関係形成45周年をワシントンでおこなった

ミャンマー民衆の闘いはかならず香港の民衆、台湾の民衆、中国本土の民衆とつながっていく。国軍を解体し

マルクスは『経済学・哲学草稿』において「共同の情欲の餌食」としての女性に対する

「しかし、古来のへかりか、女性の貧困に」

エンゲルスは『家族、私有財産、および国家の起源』の中で次のように述べている。

エンゲルスは『家族、私有財産、および国家の起源』の中で次のように述べている。

セックスワーク論批判 ⑥ 上

人間の解放かかせる

マルクス主義は買春と非和解

石川 由子

「しかし、古来のへかりか、女性の貧困に哲学的草稿」において「共同の情欲の餌食」としての女性に対する関係のうちに、人間の人間に対する無限に墮落した関係性があらわされている。人間の人間に対する直接的、自

「しかし、古来のへかりか、女性の貧困に哲学的草稿」において「共同の情欲の餌食」としての女性に対する関係のうちに、人間の人間に対する無限に墮落した関係性があらわされている。人間の人間に対する直接的、自

「しかし、古来のへかりか、女性の貧困に哲学的草稿」において「共同の情欲の餌食」としての女性に対する関係のうちに、人間の人間に対する無限に墮落した関係性があらわされている。人間の人間に対する直接的、自

「しかし、古来のへかりか、女性の貧困に哲学的草稿」において「共同の情欲の餌食」としての女性に対する関係のうちに、人間の人間に対する無限に墮落した関係性があらわされている。人間の人間に対する直接的、自



写真は『スープとイデオロギー』の1シーン

投稿

『スープとイデオロギー』を観て

濟州島四・三蜂起と弾圧

結井 達

激しい濟州島四・三蜂起とそれに対する自国軍による凄惨な弾圧。それがオモ二(お母さん)の原点。オモ二、辛すぎましたね。どうか、その自己崩壊までしそうな、処刑に

から、ありもしない妄想を始めた。ヤン・ヨンの妹になり、「どろかオムニ(お姉さん)やめてよ。それ以上オムニに聞き出そうとしたらオムニの心は完全に壊れてしまうよ」と

よる人の焦げた匂いや煙、血で染まった濟州島の記憶のフィルムを

北か？南か？アカんと言ってきたやんか。オムニの結婚相手は日本人やで。朝鮮総連活動で背広の胸元に8つもの勲章もろうほ

オモ二は日帝の侵略のために祖国を奪われ、日本に渡った両親から大阪鶴橋で生を受けた。ずっとオモ二は

オモ二は鶏のお尻の部分に具を詰め込むと丁寧に針と糸で結わえたり、水をひたひたにはり、蓋をして間に箸をはさみ、弱火でコトコト5時間。白濁したトロトロの温かいスープの完成。初めて会う日本人の男に「はいどうぞと託していいのんか」

第二次世界大戦では上空の米帝戦闘機から「この子は在日朝鮮人だから」と、空襲を免責されもしなかった。

オモ二とヤン・ヨンの傷を手当する命薬であってほしい。美しい海と自然豊かな濟州島の四・三を知った私達が今どう行動するのか

なぜオモ二は祖国韓国を肌で細胞で拒絶したのか、朝鮮民主主義人民共和国を愛するといふより、韓国に鳥肌が立つほどの嫌悪感を覚えたのか。私は映画冒頭

(7面からの続き) なわれたのである。

カルパチアのルテニアの運命について、じっくり検討したいと思う。それは、オーストリア-ハンガリーの帝国の解体に伴って、チェコスロバキアの一部となっていた。ルーシと呼ばれる人々は地方の人口のかなりの部分を占めていた。これ以上あれこれ述べることもないが、ソビエト軍のトランスカルパチア解放の後、地域の正教会の住民議会は、カルパト・ルーシをロシア・ソビエト連邦社会主義共和国に含めるか、または直接ソビエト連邦に、別のカルパチア共和国として含めることに票を投じていた。しかしながら、民衆の声は、聞き入れられなかった。1945年夏、『プラウダ』紙の表現によれば、カルパチア地方のウクライナは「古代の祖国ウクライナ」と再統一されるという歴史的行為が発表された。

<プーチン論文訳②の注>

(注4) ガリツィア(ウクライナ語ではハリチナー): 現在のウクライナ南西部からポーランドの最南部を含む地域を指す。歴史的には、古代キエフ公国、ポーランド・リトアニア共和国、オーストリア・ハンガリー帝国、ポーランド領などを経て、戦後ソ連領ウクライナに属する。住民はウクライナ人が多い。中心都市はリヴィウ(ロシア語ではリボフ)、一番長かったオーストリア・ハンガリーの領有時代に、この地がウクライナの民族文化や民族運動の中心となった。ロシア帝国より民族抑圧がより緩やかであったためもある。文中に出てくる、ここを中心に結成されたウクライナ・シーチ・ライフル部隊は中央ラーダというウクライナ独立運動の軍隊・ウクライナ人民軍の中心となった。中央ラーダの敗北後、20年代から30年代に、ウクライナ独立運動の主体としてソ連赤軍とナチス・ドイツ軍の双方と激しく戦った、ウクライナ民族主義者組織(OUN)とウクライナ蜂起軍(UPA)は、ガリツィアを中心に闘い、一時数

十万の組織を有し、赤軍もドイツ軍もこの地に介入できない状態をつくり出した。

(注5) 中央ラーダ: ラーダとはウクライナ語で評議会の意味で、ロシア語のソビエトと同じ意味である。1917年3月に、ウクライナの基本的政治勢力を結集して結成され、4月に開催された全ウクライナ人民大会で支持された。中心を担ったのは、ウクライナ社会民主労働党とウクライナ社会革命党であり、いずれもロシアのような左派・右派の区別は未分化であった。この中から、ポリシェビキとは別に「共産主義」を名のり、コミンテルンに加盟を申し出る政党が3つも出現する。中央ラーダは、当初、ロシア連邦の中でのウクライナの自治を求める立場であったが、1917年10月には第3次布告で「ウクライナ人民共和国」の創設を宣言した。1918年1月にはウクライナの完全独立を目指すことを宣言する(第4次布告)。ポリシェビキが中心となって組織したソビエトは2、3の地方でラーダを否定しつつも、やがて1918年4月以降、赤軍が投入され、反革命の白軍、無政府主義者の黒軍、農民の軍隊である緑軍、とラーダを支持するウクライナ人民軍の5者入り乱れての激しい内戦となる。1920年秋にはウクライナ勢力の敗北で内戦は終結した。それ以降のウクライナ独立を目指す運動と、1991年以降の独立ウクライナの政権はすべて中央ラーダとウクライナ人民共和国を継承することを宣言している。プーチンは、ウクライナのラーダ政権が、第1次大戦末にドイツ・オーストリアの同盟軍やポーランド軍と取引したことを非難しているが、プレスト・リトフスクで、1918年3月に独・奥にウクライナやバルト3国をすべてドイツ側に売り渡して講和を買ったのはロシアのポリシェビキ政権ではないか。またプーチンは、ウクライナの5派の内戦に関して、反革命の白軍が大ロシアの統一を守ったとして美化している。

(注6) ベロベシ合意: 1991年12月8日、ロシアのエリツィン大統領、ウクライナのクラフチュク大統領、ベラルーシのシュシケービッチ最高会議議長が、ベラルーシのベロベシでおこなった秘密会議、およびその会議でまとまった合意を指す。ソビエト連邦の解体と独立国家共同体(CIS)の設立を宣言した。会議の内容が公表されず、旧ソ連構成国の他の国は招請されていない。その後、1991年12月のミンスク合意やCISの結成にあたっての憲章などで確認したことは、(1) 独立国家共同体の参加国の主権尊重、国境不可侵、(2) 旧ソ連の対外債務・債券・資産の分割は合意で決める、(3) 各国軍を解消してCIS統一軍というロシアの提案を検討する、これらをすべて破っているのがプーチンのロシアである。グルジア・モルドバ・ウクライナの領土を侵し、対外資産・債券を一括してぶんどり、CIS統一軍に関してはどの国も賛成しなかった。逆に、自ら核兵器を放棄したウクライナ・ベラルーシ・カザフスタンには核を独占した立場から恫喝と軍事的庇護下にはいることを強制している。

(注7) 地方化政策: 「土着化」とも「先住民民族化」とも訳される。1923年からスターリンが完全に権力を握る1930年代前半までの期間、ソ連全体で採用された民族政策。構成共和国の内部で土着の民族を「優遇」する措置を取った。言語・文化の尊重、政府職員への現地民族出身者の採用などである。被抑圧民族地域での民族エリートの養成が軸となり、やがてスターリンの時代になると、ロシア語の強制(軍隊・学校・政府機関)、宗教などの統制(イスラム教徒やウクライナのユニエイト派の弾圧、等々)。やがて第2次大戦時には「大祖国防衛戦争」の名目で、一切を大ロシア愛国主義で塗りつぶす。プーチンは「地方化」が旧ロシアの分裂を生んだと否定的に評価し、スターリン以上にツァーリ専制時代を美化する。(つづく)

連載

侵略と併合を合理化 21年7月12日付ブーチン論文

「ロシア人とウクライナ人の歴史的一体性について」②

19世紀ロシア帝国末期

ロシア帝国の南西部の領土、小ロシア、新ロシア、そしてクリミアは、民族的・宗教的にそれぞれ異なる存在として発展してきた。クリミア・タタール人、アルメニア人、ギリシャ人、ユダヤ人、カライム人、クリムチャック人、ブルガリア人、ポーランド人、セルビア人、ドイツ人、その他の民族が、ここに住んでいる。彼らはすべて、自らの信仰、伝統、習慣を守っている。

私は、なにも理想化しようとはおもわない。われわれは1863年のヴァルーエフ回状、さらには、1876年のエムス命令が存在したことを知っている。それは、ウクライナ語の宗教、社会政治文献などの出版や輸入を禁じた。しかし、このことについては歴史的背景に注意することが重要である。こうした決定は、ポーランドでの劇的な出来事、およびポーランド民族運動の指導者たちの「ウクライナ問題」を利用しようとする願望に対しておこなわれたのである。付け加えて言うべきは、創作本、ウクライナの詩の本、民謡などは出版され続けたということである。客観的証拠でわかることは、ロシア帝国では、より大きいロシア国民の中での小ロシアの文化的個性の発展過程が見られ、大ロシア人、小ロシア人、白ロシア人を結びつけたということである。

それと同時に、ポーランドのエリートと小ロシアの知識人の一部の間、ロシア人とは別個の民族としてのウクライナの人という考えが形成され、強化されはじめた。ここにはなんらの歴史的根拠がなく、またありようもなかったため、ありとあらゆる作り事で結論が引きだされた。「ウクライナ人は、本物のスラブであり、モスクワのロシア人は、違う」というに至っては、何をかいわんやだ。こうした仮説が、ヨーロッパの国々の間の対立関係づくりの道具となり、政治目的に用いられることが増大していった。

19世紀終わりころより、オーストリア-ハンガリー当局は、こうした言説に引っ掛けて、ポーランド民族運動とガリツィア(注4)における親モスクワの心情を相殺するために利用した。第一次世界大戦中ウィーンは、いわゆるウクライナ・シーチ・ライフル部隊を形成する援助をしたので、ガリツィアの人々が、正教会キリスト教、ロシア派とみなされれば、残虐に弾圧されながら、タレルホフやテレージンの強制収容所に放り込まれていった。

ヨーロッパ諸帝国の崩壊にあたっては、さらなる事態の発展は、旧ロシア帝国の広大な地域で勃発する激しい内戦や諸外国の介入にかかっていた。

第1次世界大戦とロシア革命

2月革命後の1917年3月、中央ラーダ(注5)がキエフに創設され、最高の権力機関になることを目指していた。11月、中央ラーダは、その第3布告で、ロシアの構成部分としてのウクライナ人民共和国(UPR)の創立を宣言した。

1917年12月、UPRの代表たちは、プレスト-リトフスクを訪れたが、そこではソビエト・ロシアがドイツとその一行と交渉中であった。

1918年1月10日の会議では、ウクライナ一行の首脳が、ウクライナの独立を宣言し、宣言文を読み上げた。それに続いて、中央ラーダは、第4布告でウクライナ人民共和国の独立を宣言した。

宣言はされたが、主権国家は永く、続かなかった。わずか2、3週間後、ドイツ側の同盟諸国と中央ラーダ派遣団は、(ソビエト・ロシアとは)別の条約に

署名した。ドイツとオーストリア-ハンガリーは、当時ひどい状態にあって、ウクライナのパンと原料が必要だった。大量の供給体制をつくるため、彼らは、軍隊と技術陣を送ることに同意を得た。実際これは、占領の口実として使われた。

現在、ウクライナを外国の完全な支配に捧げた者は、1918年にさかのぼって、そうした決断がキエフの統治体制にとって、致命的だったことを思い起こすがいい。占領軍の直接介入によって、中央ラーダは転覆され、ゲートマンのパプロ・スコロパツキーが実権を握り、ウクライナ人民共和国(UPR)に代わり、ウクライナ国を宣言した。これは根本的にドイツの保護国になることであった。

1918年11月、ドイツとオーストリア-ハンガリーがともに、革命的事態を迎え、ドイツの銃剣の支援を失ったパプロ・スコロパツキーは方針を変え、全ロシア連邦の主導権を、ウクライナが執ることを宣言した。

しかしながら、体制はすぐまた変化し、いわゆる執政政府の時代となった。

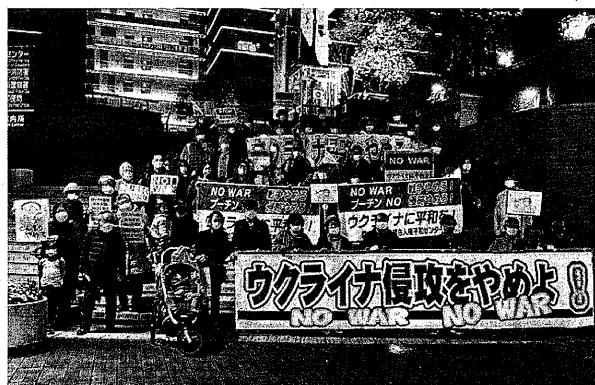
1918年秋、ウクライナ民族主義者は、西ウクライナ人民共和国(WUPR)を宣言した。さらに1919年1月、ウクライナ人民共和国(UPR)との統一を宣言した。1919年7月、ウクライナ人民軍はポーランド軍に殲滅される。WUPRの以前の領土は、ポーランドの支配下に入る。

1920年春、シモン・ペトクリューラ(今日のウクライナでは、英雄の一人として描かれている)は、UPRの執政政府のために協議会を開き、軍事支援の代わりに、ガリツィア、西部ヴォルィニをポーランドに譲る旨、結論を出す。1920年5月には、ペトクリューラ派はポーランドの護衛とともにキエフに入る。それも長くは続かない。1920年の11月初めに、ポーランドとソビエト・ロシアの間で休戦協定が結ばれ、ペトクリューラ軍の残党は、同じ、ポーランド軍に投降する。

UPRが示した疑似国家の種々の形態は、旧ロシア帝国の内戦と動乱当時のあいだ鳴り響いたものだが、継続せず不安定なものだった。民族主義者は、彼ら独自の独立国家を創ろうと模索していたが、白軍の指導者たちは、不可分のロシアを唱導していた。ボルシェビキの支持者によって設立された多くの共和国は、ロシアの外に自らを置くことなど考えていなかった。にもかかわらず、種々の理由からボルシェビキの指導者たちは、ソビエト・ロシアから、しばしば彼らを文字通り追放していたのだ。

かくして1918年早く、ドネツク・クリヴォロジ・ソビエト共和国が名乗りを上げ、モスクワにソビエト・ロシア加盟を要請した。これは却下された。共和国の指導者たちとの会議において、ウラジミール・レーニンは、ソビエト・ウクライナの一部として行動するよう彼らを説得した。1918年3月15日、ロシア共産党(ボルシェビキ)中央委員会は、ドネツク川流域を含むソビエトのウクライナ大会に代表委員を派遣し、「すべてのウクライナのためのひとつの政府」を大会で設立することを直接決定した。ドネツク-クリヴォロジ・ソビエト共和国の領土は、後に主にウクライナ南東部の諸州となった。

ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国、ウクライナ・ソビエト社会主義共和国、およびポーランドの間に結ばれた1921年のリガ条約によって、旧ロシア帝国の西部の大地がポーランドに譲られた。戦間期に、ポーランド政府は積極的な再定住政策を開始し、「東クレシー」(今日の西ウクライナ、西ベラルーシ、お



ウクライナ反戦で立ちあがる市民 (4月5日 兵庫県尼崎市)

よびリトアニア地域で、戦間期にポーランド領となっていた地域に対するポーランドの名称(訳注)の国境地帯の民族構成を変えようというものだった。そこは、厳しいポーランド化政策の下にあって、地方文化、伝統は抑圧された。のちの第2次世界大戦中、ウクライナ民族主義者の過激派は、これをポーランドに対するテロの口実とするのみならず、ユダヤとロシアの大衆にも援用した。

ソ連崩壊とウクライナの選択

1922年、ソビエト連邦が創られると、ウクライナ・ソビエト社会主義共和国は創設国の1つとして、ボルシェビキ党内で激しい議論がおこなわれたのち、平等な権利を有する共和国連邦として1つの国を形成するというレーニンの構想が実現された。連邦共和国から諸共和国が分離する権利に関しては、ソビエト社会主義連邦共和国創立宣言書にあるし、次に、1924年のソ連憲法にもある。そういうわけで創始者たちは、国家の基盤に、もっとも危険な時限爆弾を埋め込んだのである。結局は、内部から崩壊したソ連共産党の指導的役割の形での安全装置が消えるや否や爆発した。

「主権、主権のパレード」が続く。1991年12月8日、独立国家共同体(CIS)の創成に関するペロベシ合意(注6)が署名にいたり、「国際法と地政学的現実の対象としてのソビエト連邦はもはや存在しない」と宣言された。ところで、ウクライナは決して、1993年に採択されたCIS憲章を承認せず、サインせず、批准しなかった。

1920年代から1930年代、ボルシェビキは、積極的に「地方化政策」(注7)を推進した、それは、ウクライナ・ソビエト社会主義共和国では、ウクライナ化の形をとった。象徴的には、この政策の下で、前中央ラーダ議長であり、ウクライナ民族主義思想家のひとり、かつてはオーストリア-ハンガリーに支援されていたミハイル・グルシェフスキーが、ソ連邦に帰還して、科学アカデミー会員にえらばれている。

地方化政策は疑いもなく、ウクライナの文化と言語、アイデンティティの発展、強化振興に大きく貢献した。と同時にいわゆるロシアの大国主義、排外的愛国主義との見せかけの闘いを演じるため、ウクライナ化は、自分たちをウクライナ人と思っていなかった人を抑圧した。このソビエト連邦の民族政策によって、大ロシア人、小ロシア人、白ロシア人からなる三位一体のロシア人を、ロシア人、ウクライナ人、ベラルーシ人という3つの異なったスラブ民族として国家レベルで固定化したのである。

1939年、以前にポーランドによって占領された土地は、ソビエト連邦に返還された。その重要な部分、ソビエト・ウクライナの一部となった。1940年、ウクライナ・ソビエト社会主義共和国は、北部ブダピナと同じく1918年以来ルーマニアに支配されていたベッサラビアの一部を領有した。1948年、黒海の中にあつたズメイニー島(蛇島)は、ウクライナに編入された。1954年、ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国のクリミア州は、ウクライナ・ソビエト社会主義共和国に移管された。当時施行され、その時点で効力のあつた諸法規を破っておこ(6面に続く)

原発・沖縄・三里塚

田中徹先生との弥次喜多道中



田中徹先生が、8月10日未明、亡くなられた。2000年過ぎ頃の三里塚現地で先輩から譲ってもらった。84歳。心からご冥福をお祈りいたします。最後の4年間で、肺ガンに始まり、脳への転移が二度にわたり、最初の2年間は、関西電力本店前の金曜行動や大阪駅前での辺野古新基地建設反対の大坂行動に続いて続けられました。最後の2年は、臥せることが多くなり、昨年の12月24日、自ら運転して関西電力本店前闘争を訪ねられたのが最後でした(顔写真は、その折の集合写真から)。

30年以上、北海道で公立の病院の小児科医として働かれた田中先生は、退職して滋賀県野洲に建てられた自家に入り、東大阪の荒本平和診療所に医師として勤められました。その時に、具体的な闘いの場に加わりたくて、三里塚の闘いを選び、私が紹介さ

北海道の公立の病院に勤められてからは、闘いの前線からは退かれますが、巨額のカンパをされてきたようでも、「億はくだらない。今の党派の現状を見る」と返してほしいねと、よく私にばやいておられました。それを経て、先に書いたように、私の弥次喜多道中が始まりました。

本当にいろいろとお世話になりました。心安らかに眠りください。重ねてご冥福をお祈りいたします。

三里塚関西西実行委員会
松原康彦 22・8・24

田中先生は関東会員でもあり、長らく物心両面で支えていただきました。ありがとうございます。

三里塚関西西実行委員会
会『実行委ニュース第181号』より転載
見出しは本紙編集委員

特別カンパへのご協力ありがとうございました

読者、支持者のみなさん。特別カンパは目標を達成することができました。ご協力に感謝します。

当面、新聞の安定的継続的発行のめどがつかましました。改めて、今

1953年3月5日、ヨシフ・スターリンが脳卒中の発作で斃れた。翌6日、ラジオからスターリンの業績と死をいたむ放送が流される。「レーニンの事業の協力者であり、その天才的な継承者、共産党とソ連国民の賢明なる指導者にして教師」その人物の心臓は鼓動を止めた。スターリンを追悼する新聞を買い人々の列、食い入るようにこれを読む。カマフラはひたすら群衆の表情を追う。スターリンが安置された棺に最後の別れをするために、モスクワの円柱ホールに人びとが集まっている。映像には写っていないが、人の群れに押されて圧死

する事態もおきていた。ヨシフ・スターリンが脳卒中の発作で斃れた。翌6日、ラジオからスターリンの業績と死をいたむ放送が流される。「レーニンの事業の協力者であり、その天才的な継承者、共産党とソ連国民の賢明なる指導者にして教師」その人物の心臓は鼓動を止めた。スターリンを追悼する新聞を買い人々の列、食い入るようにこれを読む。カマフラはひたすら群衆の表情を追う。スターリンが安置された棺に最後の別れをするために、モスクワの円柱ホールに人びとが集まっている。映像には写っていないが、人の群れに押されて圧死

『国葬』

記録映画

監督:セルゲイ・ロズニツァ 2019年製作



花束に囲まれたスターリンの遺体

こなわれている。人々はみんな悲しみ、涙を流している。葬儀に参列するために、東欧諸国から代表がモスクワにやってくる。中国からは周恩来が来ている。スターリンの葬儀は5日間にわたってソ連邦内の各地でとりこまれた。この葬儀の様子には、200人ものカメラマンを動員して撮影されていた。スターリン個人をたたえられたのほり、1500万人が餓死した。その国家建設はまちがっていた。

この記録映像のなかで、この作品はついに日の目をみなかった。ロスニツァはこのフィルムを編集しなおし、スターリンを支えた群衆に焦点をあてて再構成しなおした。それがこの作品だ。

当時、スターリンに疑問をもっていた人たちがもいた。シベリアに流刑になった人びとはスターリンの死に喝采を叫んでいる。しかし、ここに集まった人たちはスターリンを信奉している。人びとは個人の意志で、スターリンを追悼するために葬儀に参加した。民衆はスターリン個人に従ったのではなく、共産主義社会の建設に希望をいだいていた。だから、スターリンに希望をたたくし、同志として追悼した。

乗ったかのように相対する。わたしたちはすでにスターリンが何をかを知っている。スターリン時代に殺害、処刑された市民は2700万人にのぼり、1500万人が餓死した。その国家建設はまちがっていた。

この記録映像のなかで、この作品はついに日の目をみなかった。ロスニツァはこのフィルムを編集しなおし、スターリンを支えた群衆に焦点をあてて再構成しなおした。それがこの作品だ。

当時、スターリンに疑問をもっていた人たちがもいた。シベリアに流刑になった人びとはスターリンの死に喝采を叫んでいる。しかし、ここに集まった人たちはスターリンを信奉している。人びとは個人の意志で、スターリンを追悼するために葬儀に参加した。民衆はスターリン個人に従ったのではなく、共産主義社会の建設に希望をいだいていた。だから、スターリンに希望をたたくし、同志として追悼した。

闘争案内

改憲発議と大軍拡やめろ！ さようなら戦争さようなら原発9・19大集会

とき：9月19日(月) 午後1時半

※デモ出発 午後3時15分

ところ：代々木公園野外ステージ&ケヤキ並木

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会/さようなら原発・1000万人市民アクション実行委員会

安倍元首相の国葬反対！ 大阪集会

とき：9月19日(月) 午後2時

※デモ出発 午後4時

ところ：PLP会館・5F大会議室(大阪市北区)

主催：とめよう改憲！おおさかネットワークなど5団体

協賛：おおさか総がかり行動実行委員会

安倍元首相の死を悼まない！

9・23リレートーク&デモ

とき：9月23日(金) 午後5時半

※デモ出発 午後6時半

ところ：新橋SL広場

主催：国葬反対！安倍元首相の死を悼まない！共同行動

9月17日から23日に変更

安倍銃撃死と統一教会問題

※異議あり国葬！9・23緊急シンポジウム

とき：9月23日(金) 午後6時半

ところ：港区民センターホール(大阪市港区)

主催：9・23緊急シンポジウム実行委員会

おおさか総がかり「国葬」反対集会とデモ

とき：9月26日(月) 午後6時半

※午後7時10分から西梅田公園までデモ

ところ：中之島公園・女神像前

主催：おおさか総がかり行動実行委員会

安倍元首相「国葬」反対！ 9・27国会正門前大行動

とき：9月27日(火) 午後2時

ところ：国会議事堂正門前

主催：安倍元首相の「国葬」に反対する実行委員会

呼びかけ：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

安倍国葬やめろ！デモ

とき：9月27日(火) 午後1時半

ところ：中之島・水上ステージ(大阪市北区)

主催：やめろ！安倍国葬実行委員会

革命的共産主義者同盟再建協議会